

<トータルバランスヘルスゼリー>

トータルバランスヘルスゼリーは、抗体医薬のプロフェッショナルである村上康文教授が開発した新型コロナウイルス抗体を含んだ免疫系サプリメントです。

特徴

- ・murak抗体(IgY抗体)配合
- ・グレープフルーツ種子抽出物配合
- ・ゼリー状で手軽に使用可能
- ・安全、安心の国内製造 (GMP認証)

原材料名

寒天(国内製造)、ニワトリ卵黄抽出物、甘味料(キシリトール)、グレープフルーツ種子抽出物、保存料(安息香酸Na)、ビタミンD
※原材料に含まれるアレルギー物質(28品目中):タマゴ

お召し上がり方

- 1日1~3包を目安にお召し上がりください。
- 水なしでご利用いただけます。
- お口の中で溶かしながらゆっくりお召し上がりください。

内容量 150g (5g×30包)



ポリクローナル抗体(IgY抗体)

ニワトリ由来のIgY抗体は、構造がヒトのIgG抗体と類似しており、IgG抗体と同様の安定性を有しています。鶏卵から精製したポリクローナル抗体については、テストした全ての変異型スパイクタンパク質に対して、中和することを確認しております。

中和抗体がどのように機能するか？



この製品で用いられるIgY抗体はニワトリから抽出されます。哺乳類から生成されるIgG抗体と比べて高い結合性を持ちます。ワクチンの効果により得られる抗体もIgG抗体です。

IgY抗体は、IgG抗体と比べ幅広い領域を持つため変異株などにも高い効果を発揮します。

服用すると口腔内の細胞より中和抗体が吸収され細胞角質に留まりコロナウイルスと結合するACE2(受容体)にも結合します。

新型コロナウイルスが体内へ侵入してきた場合、抗体がウイルスの持つスパイクと結合し、ウイルスは不活化し細胞への感染も防止します。

製品の特徴

■高い効果

製品内には、新型コロナウイルス1分子に対して抗体分子は約100分子で中和します。ゼリー1包辺り抗体は0.3mg配合されております。**0.3mg中に抗体が約3兆分子含有しています。**計算上、300億分子の新型コロナウイルスを中和します。

具体的な効果でいうとワクチンなどによる**体内抗体(IgG抗体)の100倍と桁違いの中和力を発揮します。**しかしながらワクチン同様**100%の効果があるとは言えません。**

■効力維持の目安時間：8時間

本製品の効力維持の目安時間は、8時間です。

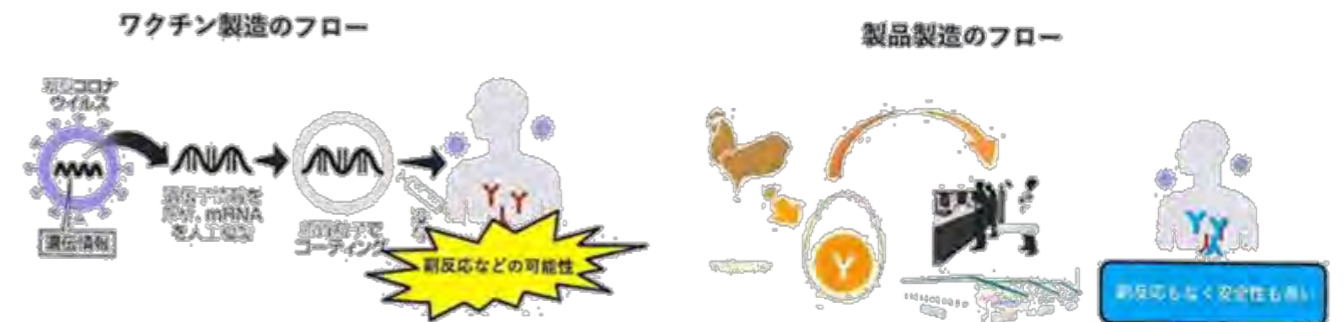
本製品の抗体は、強力ではありますが体内に免疫を残すことはございません。カスタマーのライフスタイルに合わせて1~3包の摂取が必要です。



■体内への安全性

ワクチンは無毒化したウイルス抗原です。つまり、体内に異物を入れて対抗する抗体を作り出し免疫を獲得する方法です。そのため、異物に対する対抗措置として副反応などが起こる可能性があります。本製品はニワトリから抽出した抗体ですので意味合いは真逆となります。得られる抗体においてもIgG抗体ですので本製品のIgY抗体とは異なります。

本製品は、体内にとって異物ではないため副反応などもございませんので、安心してご使用いただけます。



■広い攻撃範囲：複数の遺伝子変異に対しての中和が可能

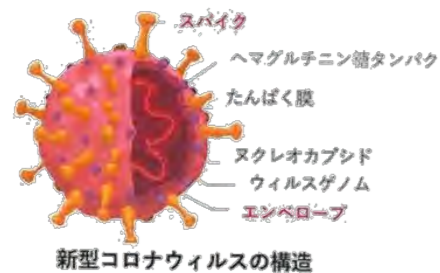
今回の抗体は、ワクチンにより体内で作られるモノクローナル抗体とは異なる、ポリクローナル抗体です。簡単に申し上げますと万能性に違いがあります。ポリクローナル抗体はウイルススパイクの複数の遺伝子を中和することができ、**複数の遺伝子変異に対しての中和が可能です。**

新型コロナウイルス抗体開発者 村上康文



東京大学薬学研究科博士課程修了(薬学専攻)、アルバータアインシュタイン医科大学、免疫学部門 スローンケタリング記念癌研究センター、分子生物学・ウイルス学部門 理化学研究所にて抗体医薬・ゲノム生物学の研究に従事した後、東京理科大学基礎工学部生物工学科教授に就任。鳥取大学の客員教授も務める。専門分野は抗体医薬、ゲノム生物学、遺伝子工学。

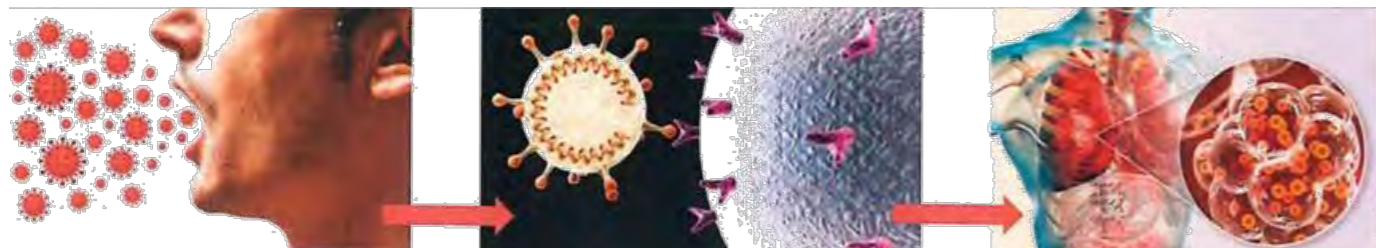
ウイルスの構造



コロナウイルスは、直径約100μmの球状ウイルスで、電子顕微鏡で見ると、表面にスパイクと呼ばれる突起のような構造が観察される。この形が日食のコロナの様に見えることからコロナウイルスと名付けられた。新型コロナウイルスは、インフルエンザウイルスと同様エンベロープ(保護膜)を持つウイルスである。また、ウイルスのゲノムが突然変異を生じることがある。

※μmは、mmの1/1000

新型コロナウイルスの感染イメージ



飛沫や手からなどの経路により目、鼻、口より体内にウイルスが侵入。

体内への侵入に成功したウイルスは次にコロナウイルスと結合する。ACE2(受容体)に吸着し細胞内にまで侵入。この時点で感染となる。

感染に成功したウイルスは、増殖して様々な器官に影響を与える。新型コロナウイルスは主に肺炎を引き起こす。